

緑化だより

No.213 令和7年3月号



キクイタダキ(撮影:田中 清裕氏)

- 季節の花 (タブノキ(つまま))
- 水生昆虫の話 (サワガニ)
- 小さな世界こけ(エビゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 緑化の未来

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

タブノキ(つまま)

「磯の上の 都万麻(つまま)を見れば

根を延(は)へて 年深からし 神(かむ)さびにけり」

作者 大伴家持 万葉集 卷19-4159

これを訳しますと

(海辺の岩の上に生えている つまま(タブノキ)を見ると、

根をがっしり岩場に食い込み、見るからに年を重ねているようだ。

なんと力強く、神々しいことだ)

天平 18(746)年 3 月 9 日、大伴家持は越中の国府として、年貢の取り立てに行く道すがら越中国射水郡 渋谷の埼(富山県高岡市)の海岸の景色を眺めている時、岩上に根が露出した見慣れない大樹を見て驚いた歌です。

タブノキ(榑木)はクスノキ科タブノキ属の常緑高木です。

古名はつまま(都万麻)です。材がクスノキより劣るため別名イヌグスとも言われます。

タブノキは、暖地の海岸付近に多く自生し、中国大陸から東南アジアまで分布しています。

公園や庭園にも多く植栽されて、樹高は 10~15m ほどになり、新芽の中に花芽と葉芽が入った混芽で大きくとがっているのが特徴です。5~6 月に黄緑色の小さい花をつけ、葉柄は 2~3 cm で赤く目立ちます。果実は直径 1cm で、秋に黒く熟します。

タブノキの葉や樹皮の粉はタブ粉といわれて、線香や蚊取り線香の原料になります。

樹皮にはタンニンが含まれており八丈島では褐色の染色に用います。黄色に染める黄八丈との対比が美しい縞模様の絹織物を作ります。

材は腐りにくく家具、建築、彫刻材として利用される有用植物であり日本の照葉樹林を代表する植物です。(上村)



タブノキの冬芽

水生生物の話

サワガニ

年が明けて、寒い日が続きますね。緑化センターの小川にも真っ白な雪が積もって、幻想的な景色に冬の美しさを感じます。そんな極寒の小川の中で、石の下に潜ってじっと動かさず冬眠しているカニの仲間、サワガニについて調べてみました。

サワガニ(沢蟹、エビ目 サワガニ科)は、日本固有種で、一生を淡水域で過ごす純淡水性の淡水ガニです。本州、四国、九州などの山間部、上流や源流(げんりゅう)の水中と、その周りの陸地などに生息しています。きれいな場所に生息しているので、水質評価の指標になっており、指標生物 I の生物となっています。



サワガニ

サワガニの体色は、地域個体群によって違いがあります。基本型として紫黒色、橙赤褐色および淡い灰青色の3型で、紫黒色は東北地方に多く、橙赤褐色は関東中北部から中部地方、淡い灰青色は関東南部から九州地方に広く分布しています。

甲羅の幅は2~3cmほどで、他の淡水で見られるカニに比べて体が滑々としています。雑食性で、主に水生昆虫や藻類、ミズ、貝類などを捕食しますが、魚の死骸や陸生の昆虫、腐敗した落ち葉などの有機物も食べています。

春から初夏にかけて繁殖し、メスは体に比べて大きめサイズの直径2mmほどの卵を数十個産卵して、腹部に抱えて保護します。一般的なカニと違って幼生は卵の中で変態して、孵化する際には既にカニの姿となっていますが、しばらくはメスの腹部に守られて過ごします。稚ガニは3~4年で成熟します。

サワガニは昔から食用としても親しまれており、唐揚げや佃煮、お味噌汁に串焼きと、色々な調理法で楽しむことができます。特に冬のサワガニは冬眠のためにしっかり栄養を蓄えているので、特に美味しいそうです。

ただし、肺吸虫の第2中間宿主なので、生で食べると肺吸虫に感染する恐れがあるため注意が必要です。

養殖もされていて、食用だけでなく観賞用でも人気があるので、カニがお好きな方は飼育にチャレンジしてみると、その生態が観察できるので楽しいかもしれませんね。(西村)

小さな世界 こけ

エビゴケ

図鑑を見ていると必ず掲載されているコケ。写真の姿や名前に惹かれ是非見てみたいと緑化センター内を探してみましたが、見つかりませんでした。

エビゴケは蘚類エビゴケ科で、雌雄異株。エビゴケ科のコケは日本ではこのコケ1種のみです。

花崗岩の岩壁を好み、木漏れ日の差す場所に垂れ下がって生育します。

つやのあるマットを作り、茎の長さ1~3cmで、葉は幅1.5~2mmほどで、左右に密に重なりあって平べったくつきます。

茎の先の雌苞葉しほうようはひげのように長く伸び、それをエビの触覚に見立てて名付けられました。

学名のブリオクシフィウム*Bryoxiphium*は *Bryo* (コケ) - *xiphium* (剣) で、この種の葉の特徴からつけられています。

県内では竜頭峡、三段峡、宮島などで記録があります。

右の写真は岩国市そうづきよう雙津峡で撮影したものです。(山根)



エビゴケ



エビゴケの葉

研修会のご案内

- | | |
|---|---|
| ○ 3月1日(土) 『早春のバードウォッチング』
散策しながら野鳥を観察します
※自由参加・無料 双眼鏡持参 雨天中止 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：日本鳥類保護連盟
三次地方分会事務局長
衛藤 慎也 |
| ○ 3月8日(土) 『針葉樹の見分け方』
室内で実物の葉っぱを見て、特徴や見分け方を学ぶ
※自由参加・無料、ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室集合
講師：森林動物研究家
埴田 宏 |
| ○ 3月14日(金) 『早春の自然探勝』
樹木の冬芽と早春の植物を観察します
※自由参加・無料、ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 3月14日(金) 『広島県内の
スマレの見分け方』
広島県内のスマレの種類とその違いを学ぶ | 13:30～15:00 学習室 集合
コーディネーター：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 3月19日(水) 『早春のコケ観察会』
室内で基本を学んだあと、屋外で観察します。
※自由参加、無料 ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎 |
| ○ 3月28日(金) 『3月の自然探勝』
散策しながら植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：緑花文化士
横山 直江 |

♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

【車両通行規制のお知らせ】

3月22日(土)～4月29日(火・祝)の土、日、祝日
多目的広場～第5駐車場

・ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2025 春 3月8日(土)～5月18日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!

・さくら祭り 3月22日(土)～4月20日(日)
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約60種類が楽しめます。
さくらクイズに答えて景品ゲット

・さくら祭り お楽しみイベント
～八重ざくらを楽しもう～ 4月13日(日)10:00～15:00
自由工作塾、ネイチャーゲーム、 場所:レストハウス前広場
4月の植物観察会、(集合場所:学習展示館前10:00～)

・ひろしま遊学の森 ピクニックウォーク 3月23日(日) 10:00～15:00
集合場所:緑化センター多目的広場

◎ 展示会

場所: レストハウス
(ボード展示)

・緑化センターのさくら写真展 3月22日(土)～4月20日(日)

